

事業所名

ディスカバリーフォレスト

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

7 日

法人（事業所）理念		ひとりひとりが陽の当たるステージを獲得するために、好き・得意を伸ばし、自信と自立につなげる。 幼児から大人まで一貫した本人主体の支援を行う。		
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・未就学の早期の時期に、一人ひとりの成長を見守りながら、寄り添う支援をおこなう。 ・自分で選び取り組むといった主体性を育むことを目的に、発達段階に合うモンテッソーリ教具や教材を環境設定する。 ・小学校就学に向けて、SST・運動療育・集団療育・個別療育・自立課題等をプログラムしながら、社会面（ソーシャルスキル）・生活面・運動面・学習面の支援をする。 		
営業時間		9 時 00 分から 18 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、身辺整理、排泄、衣服の着脱、食事等の具体的な方法を支援しながら、基本的な生活習慣スキルの習得を支援する。 ・クッキングプログラムを通して、食への興味関心を促し、苦手なものへのチャレンジや偏食の克服などに繋がる食育をおこなう。 ・屋外活動を通して、自然の中で活動する中で、自然環境に親しみながら戸外での楽しさや安全な行動を身に付ける。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通してクラフト活動や自立課題を設定し、分かりやすいイラスト等を掲載した視覚的ツールを用いながら、指先の巧緻性等の微細運動を育む。 ・ボールやフープ、ボールリング、ハードル、プランコなどのサーキット活動や運動遊びを通して、伸び伸びと体を動かすことの楽しさや身体機能の向上を支援する。 ・個々の感覚特性に応じ、机の配置を工夫したり、イヤーマフやリラクセススペースなどを利用し、安心して過ごせるような環境を設定する。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・季節感や自然の変化に興味をもち、色や形・大きさ・不思議さ・美しさ等の抽象概念の認知を育む。 ・パズルや迷路、カードゲーム、塗り絵などに取り組みながら情報処理能力や思考力・問題解決能力・集中力の向上を支援する。 ・SSTやアナログゲーム等のプログラムを通して、記憶力や判断力が必要な遊びを楽しく経験しながら認知機能の向上を育む。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・PECS、絵カード、文字カード等を用いて、発語や手差し、指差しや音声やサインによる意思表示の有無などの表出言語を育む。 ・生活の中で必要な言葉や挨拶が分かり、他者と伝え合おうとする喜びや共感を通してコミュニケーションスキルの向上を支援する。 ・『運筆・ひらがな書き・なぞり書き・点つなぎ・絵本に親しむ』など、日常生活の中で言葉と文字の概念や言語理解と意味疎通能力の基礎を育てる。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの段階（1人遊び・並行遊び・協働遊び・年齢や人数等）を大切に、発達に応じたプログラムを通して社会性を育む。 ・集団遊びやSSTを通して、チームでの協力や共有を大切にした課題を提供し、他者と喜びや達成感へつなげる。 ・就学へ必要なスキルである『時計の見方や時間の感覚』・『姿勢保持』・『場面に応じた適切な挨拶や立ち居振る舞い』などの習得を視覚的な教材を用いて、促す。また、年長児には個々に『サポートシート』を作成し、スムーズな就学への連携を図る。 		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族様の子育てに関する困りごとに対して、協働して対応策を考える。 ・本人の発達状況や特性理解に向けた相談援助を実施する。 ・保護者会など、保護者交流の機会を提供する。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・本人が地域の様々な場面で適切な支援を受けられるように、関係機関との連携を図り、ネットワークの構築を行う。 ・他のこども施設との併行利用や移行に向けた支援する。 ・併行利用先や学校等と連携を図り、障害特性に応じた一貫した支援を実施するための情報共有や協議を行う。 ・進学等のライフスタイルの変化を見据えた準備をご家族と協働して行う。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援センターや医療機関等、本人の支援に関わる保健・医療・福祉・教育・労働等の関係機関と連携する。 ・併行利用先や学校等と連携を図り、障害特性に応じた一貫した支援を実施するための協議や助言を行う。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・国が定めた義務化研修（感染症対策研修、児童虐待防止・身体拘束適正化研修等）を必ず実施し、安心してご利用いただけるよう職員の質の向上に努めます。 ・社内研修を実施し、障害特性への理解を深めると共に、障害特性に応じたより良い対応方法を習得します。 ・必要に応じて職員を外部研修に派遣し、更なるスキルアップを目指します。
主な行事等		保護者会、親子フェスティバル、クリスマス会、夏の川遊び、秋の芋掘り、野外活動		